

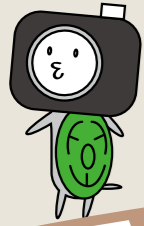
—カメラ📷劇場—

広報紙 100年の軌跡

初めて市の広報紙を発行してから、
2022年4月に100周年を迎えました。時
代とともに変遷を遂げてきた、広報紙の
誕生から現在までを振り返ります。

問合せ／みとの魅力発信課(☎232-9107)

ようこそ、カメラ劇場へ！
わたくし、支配人の「カメラ」と申します。
あっ、普段は広報みと15日号のイベントカレ
ンダーに、毎月登場しております。
今回は、「広報紙100年の軌跡」を一緒に見て
いきましょう。



「広報紙100年の軌跡」はいかがだっ
たでしょうか。
それでは、また広報みと1月15日号
でお会いしましょう！

この時代にタイムスリップ
してみたいな…



広報紙・100周年

「水戸市報」「水戸市
広報」「水戸市政だより」
「広報水戸」「広報みと」
と名前を変えながら、
現在まで続いています。
これまで、生活に必要な
情報や災害情報、施策の
情報など、さまざまな情
報を伝えてきました。
これからも市民の皆さん
に、正確な情報を分かり
やすく伝えられる広報紙
を目指していきます。ま
た、広報紙はもちろん、
市ホームページ、各種
SNSなどでも情報発信に
努めます。

いきいき茨城ゆめ国体 開催

茨城県で国体が開催
されたのは、1974年の
「水と緑のまごころ国体」
以来、45年ぶり2回目。
市内7会場で、バスケッ
トボールや弓道など、
11競技が行われました。
表紙は、国体に出場
する選手や競技関係者、
地域の皆さんが一堂に
会し、国体の成功に向
けて行われた「水戸市社
行会&集火イベント」の
様子です。市内全34地
区の炬火が、地区を代
表する子どもたちの手
で一つになり、水戸市
の火「ゆめいっぱい輝く
水戸の未来の火」が誕生
しました。

東日本大震災発生

2011年3月11日、午
後2時46分、東日本大震
災が発生。水道、電気、
ガスなどのライフライン
に加え、多くの建物や
施設、道路、橋梁の破
損等大きな被害を受け
ました。
広報紙では、被害の状
況を伝えるとともに、
生活に直結する生活支
援情報などを掲載。ま
た、ボランティアなど
のあたたかい支援の様
子を表紙にしました。
この号以降も、東日本
大震災における支援や、
施設の利用状況などに
関する情報を、広報紙
でお伝えしました。

水戸市と内原町合併

2005年2月1日、水
戸市と内原町が合併し、
一つのまちになりました。
表紙の写真は、内原
町の花「かたくり」、く
れふしの里古墳公園の
「はに丸タワー」、水戸
市の木「梅」、水戸市
の街並みです。
豊かな自然や歴史、
文化が一つになって、
新しい水戸市が誕生し
ました。

大河ドラマ「徳川慶喜」 展示館オープン

千波公園ふれあい広
場に現れた、白壁に囲
まれ、江戸時代にタイ
ムスリップしたかのよ
うに感じる建物。大河
ドラマ「徳川慶喜」の
ロケで使われた後、展
示館として、約1年間親
しまれました。
表紙は、展示館の開
館式典の様子です。大
河ドラマ「徳川慶喜」
の出演者たちが、くす
玉を割り、オープンに
華を添えました。

1989年(昭和64年) 1月1日発行

市制施行100周年

市制施行100周年記
念事業を県内外にPRし
たり、イベントに華を添
えたりするキャンペーン
ガールが表紙を飾り
ました。
中の紙面では、キャ
ンペーンガールの意気
込みなどが掲載されて
います。
また、市制施行100周
年記念事業の一つとし
て、水戸芸術館が建設
されたことも大きな話
題となりました。

1974年(昭和49年) 6月15日発行

水戸駅南口が開設

水戸駅南口駅舎、北
口と南口を結ぶ跨線橋、
駅舎前の南口広場の完
成について、記されて
います。
「南口広場が完成しま
すと、北口広場の渋滞
も緩和され便利になる
とともに、将来の交通、
商業の拠点ともなるで
しょう」と期待が込めら
れています。

1964年(昭和39年) 9月30日発行

聖火リレーが市内に

右下にはオリンピック
東京大会に出場する、
水戸市出身の陸上競技
選手、飯島秀雄さんと
役員20名が紹介されて
います。
左下には、北海道から
出発した聖火が、10月
3日～4日に市内を通
過することに伴って、
市役所で開催された記
念式典や、市内でのパ
レードについて記され
ています。

1949年(昭和24年) 4月15日発行

「水戸市報」復活

長い間廃刊になって
いた「水戸市報」を復活
し、第1号を再発刊しま
した。
上段には、当時の山
本敏雄市長と伊藤建之
助議長のコメントが掲
載されています。
中段には、「水戸市報
編集発行規程」が設け
られ、市議会議員から
3人、市吏員から2人の
委員が選ばれ、「市報
発行委員会」を組織し、
発行すると記されてい
ます。

1922年(大正11年) 4月20日発行

「水戸市報」 第1号発行

初めて「水戸市報」を
発行したのは、今から
100年前。
第1号に、当時の川田
久喜市長は「自治の振
興発達は、之を構成す
る各人の自覚と協力に
待たねばならぬ」、そ
のため市政には「其の
本体の理解と事情の通
達が必要」と、情報発
信の必要性を記してい
ます。



広報紙の名前も
変わっていらっしゃいます！



うわあ、
すてきな表紙がいっぱいですね～



過去の広報紙は、各市立図書館で読むことができます。
また、過去3年分の広報みとは、市ホームページでもご覧になれます。

